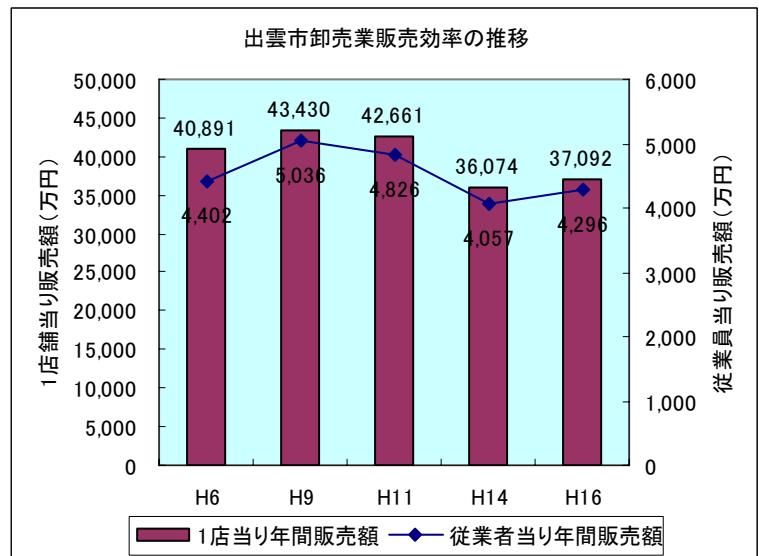
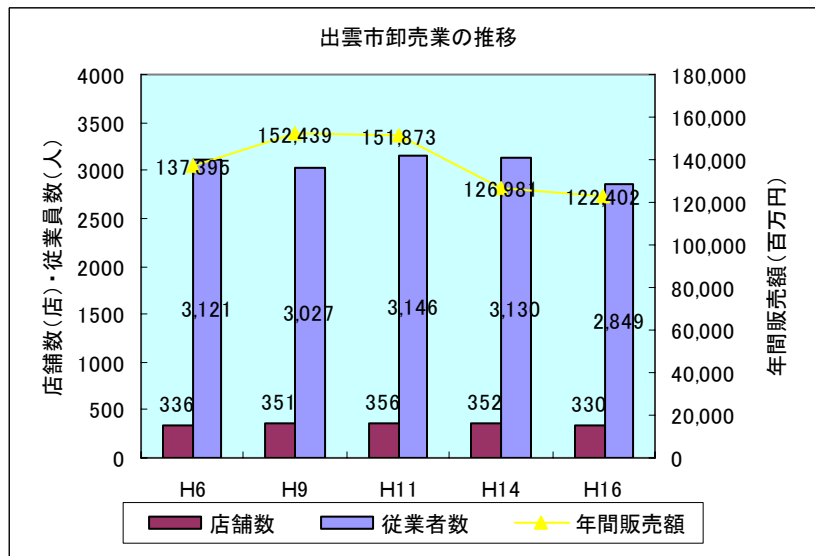


# 平成16年商業統計結果（卸売業）

## 調査の期日

平成16年6月1日。なお、年間商品販売額は、平成15年4月1日から平成16年3月31日までの1年間の販売額。商業統計調査は、平成9年以降の調査から、5年ごとに実施され、その中間年（調査の2年後）に簡易な調査を実施することとなっている。今回は第2回目の簡易調査であり、全国すべての事業所・企業を対象とした総務省所管の事業所・企業統計調査およびサービス基本調査との同時調査（調査表は両調査共通の平易な様式）により実施され、事業所の産業の決定（格付け）方法が商業統計調査と異なる点があり、数値を時系列で使用する際には注意を要する。

## 出雲市卸売業の推移



	平成3年	平成6年	平成9年	平成11年	平成14年	平成16年
店舗数	417店	336店	351店	356店	352店	330店
(対前回増減率)	10.6%	▲19.4%	4.5%	1.4%	▲1.1%	▲6.3%
(県対前回増減率)	8.7%	▲14.7%	▲1.9%	5.8%	▲6.9%	▲3.9%
従業者数	3,409人	3,121人	3,027人	3,146人	3,130人	2,849人
(対前回増減率)	10.9%	▲8.4%	▲3.0%	3.9%	▲0.5%	▲9.0%
(県対前回増減率)	9.3%	▲7.3%	▲2.9%	2.7%	▲7.3%	▲5.6%
年間販売額	1,602億 1,046万円	1,373億 9,468万円	1,524億 3,874万円	1,518億 7,259万円	1,269億円 8,119万円	1,224億 243万円
(対前回増減率)	27.7%	▲14.2%	10.9%	▲0.4%	▲16.4%	▲3.6%
(県対前回増減率)	12.2%	▲8.2%	9.8%	▲13.6%	▲12.6%	▲4.5%
1店当り販売額	3億8,420万円	4億891万円	4億3,430万円	4億2,661万円	3億6,074万円	3億7,092万円
(同 県実数)	4億1,789万円	4億6,385万円	5億1,923万円	4億2,386万円	3億9,792万円	3億9,583万円
従業者当り販売額	4,700万円	4,402万円	5,036万円	4,826万円	4,057万円	4,296万円
(同 県実数)	5,561万円	5,650万円	6,386万円	5,369万円	5,064万円	5,125万円
販売額県内シェア	13.6%	12.7%	12.9%	14.8%	14.2%	14.3%

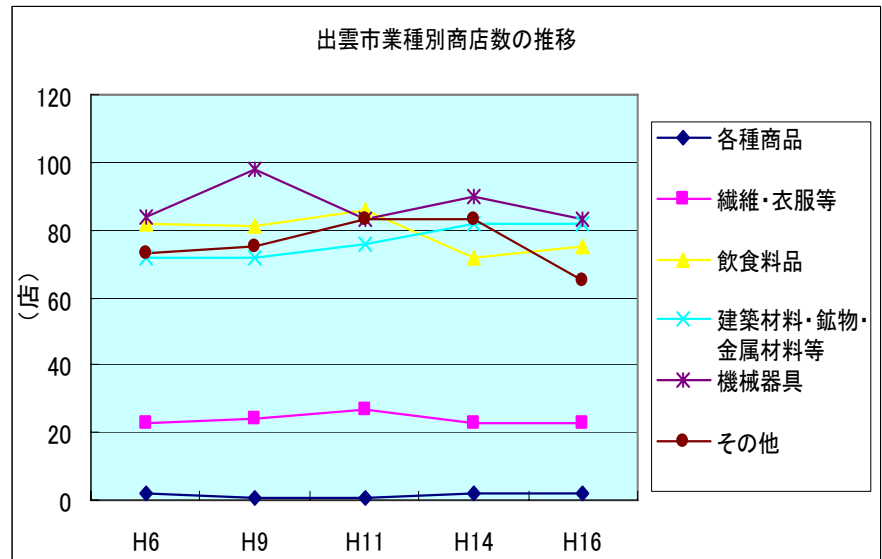
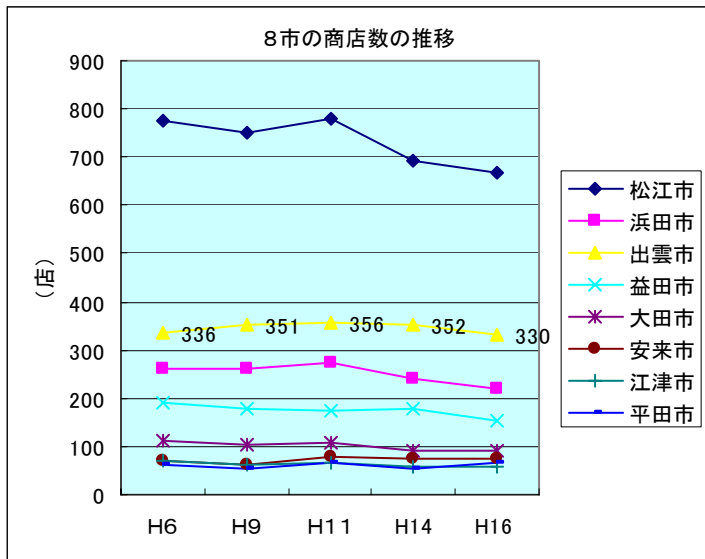
## ポイント

- ・ 店舗数は直近3回の調査とも350店台で推移していたが、330店となった。
- ・ 従業者数は前回に比べ9%の減少となった。
- ・ 年間販売額は前回は16.4%の大幅な減少であったが今回は3.6%の減少となった。
- ・ 店舗数、従業者数、年間販売額の3項目は島根県、出雲市とも全て減少し、出雲市は店舗数、従業者数の減少率が県の減少率に比べて上回っているが、年間販売額は県の減少率を下回った。
- ・ 販売効率は、店舗数及び従業者数の減少率が年間販売額の減少率を上回ったため、1店当りの販売額、従業者当りの販売額ともに増加したが、県平均を下回っている。
- ・ 出雲市の販売額の県内シェアは前回の14.2%から14.3%へと微増した。

## (1) 商店数

出雲市の商店数は22店減少している。県内で増加したのは、平田市の11店と大田市の2店である。

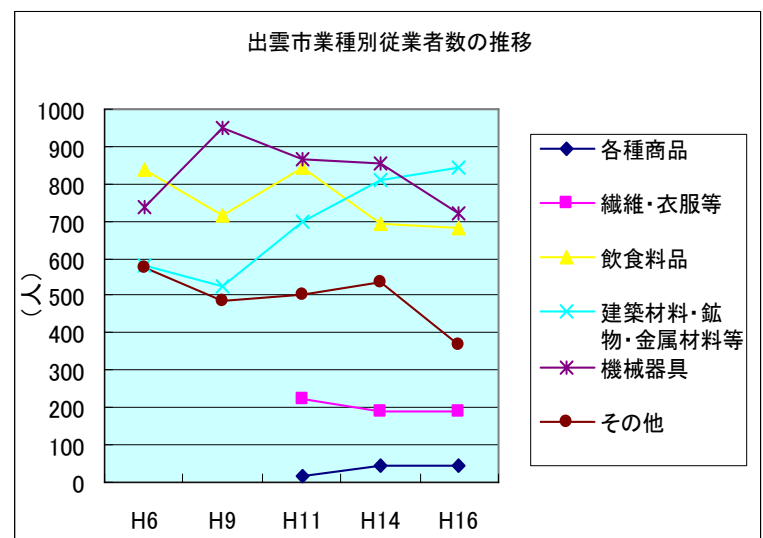
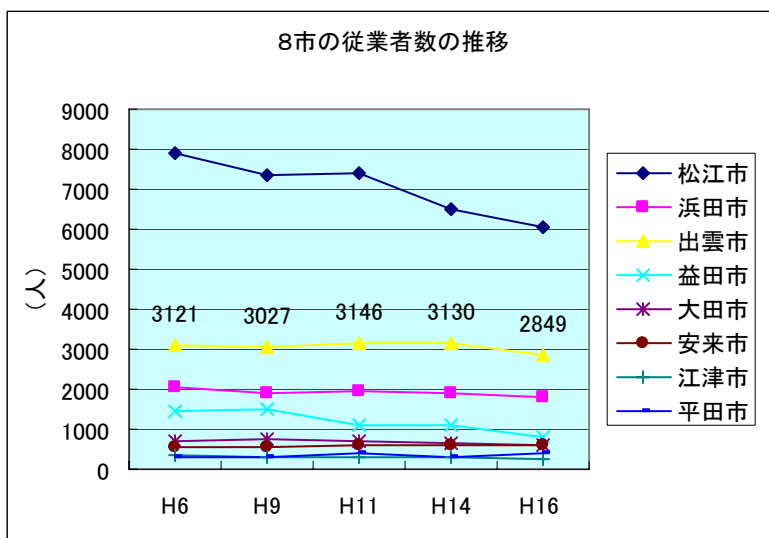
出雲市の中分類業種別で見ると、今回唯一増加したのは、前回減少数が最も多かった「飲食料品」で3店増加した。反面減少数が最も多かったのは「その他の卸業」の18店だった。



## (2) 従業者数

8市の従業者数の増減を見ると、唯一増加したのは平田市の69人で、松江市で今回415人減少するなど長期的に減少傾向を示している。出雲市もほぼ横ばいであったのが281人と減少傾向にある。

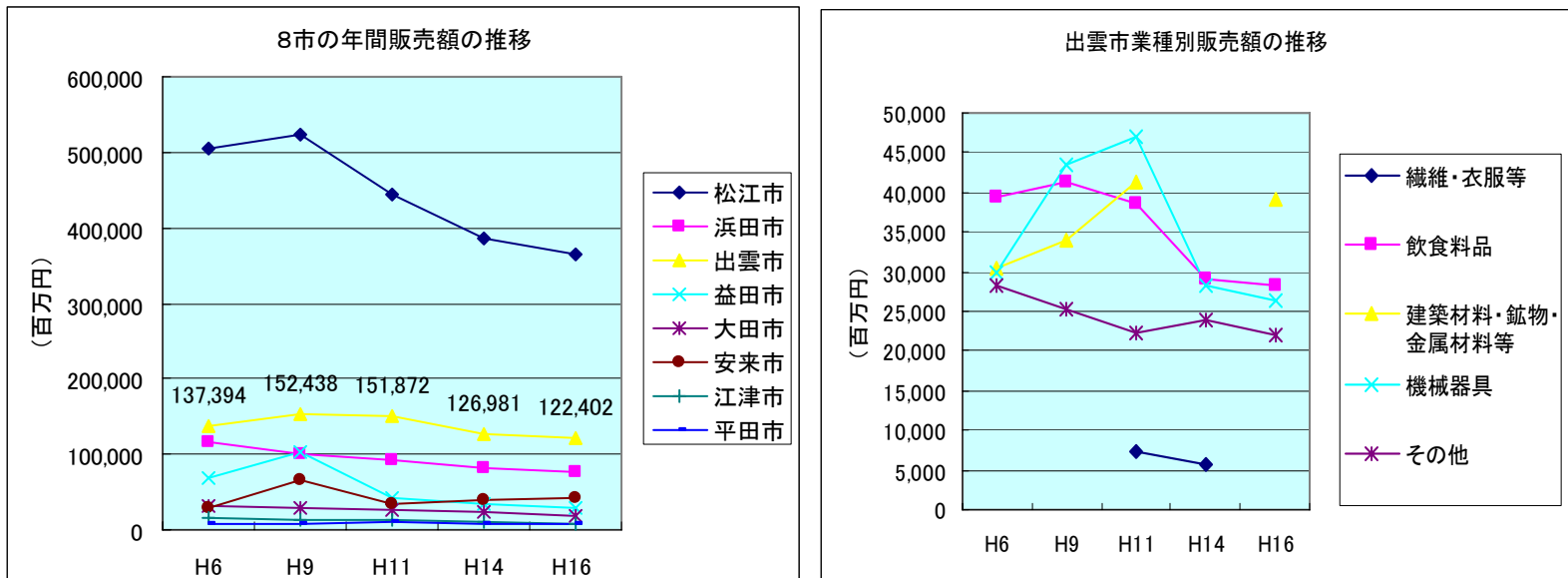
出雲市の中分類業種別の動向を見ると、「建築材料、鉱物・金属材料」が前回の170人に続き今回も37人の増加を示した一方、「機械器具」が133人「その他の卸業」が169人の減少を記録した。(「各種商品」と「繊維・衣服等」のH6、H9は秘匿されている。)



### (3) 年間販売額

8市の状況を見ると、平田市が18.7%、安来市が3.0%と増加した以外は、全市で減少している。一番減少率が高かったのは大田市の20.7%、続いて江津市の18.6%となっている。出雲市は県平均を下回る3.6%（45億円）の減少率となった。

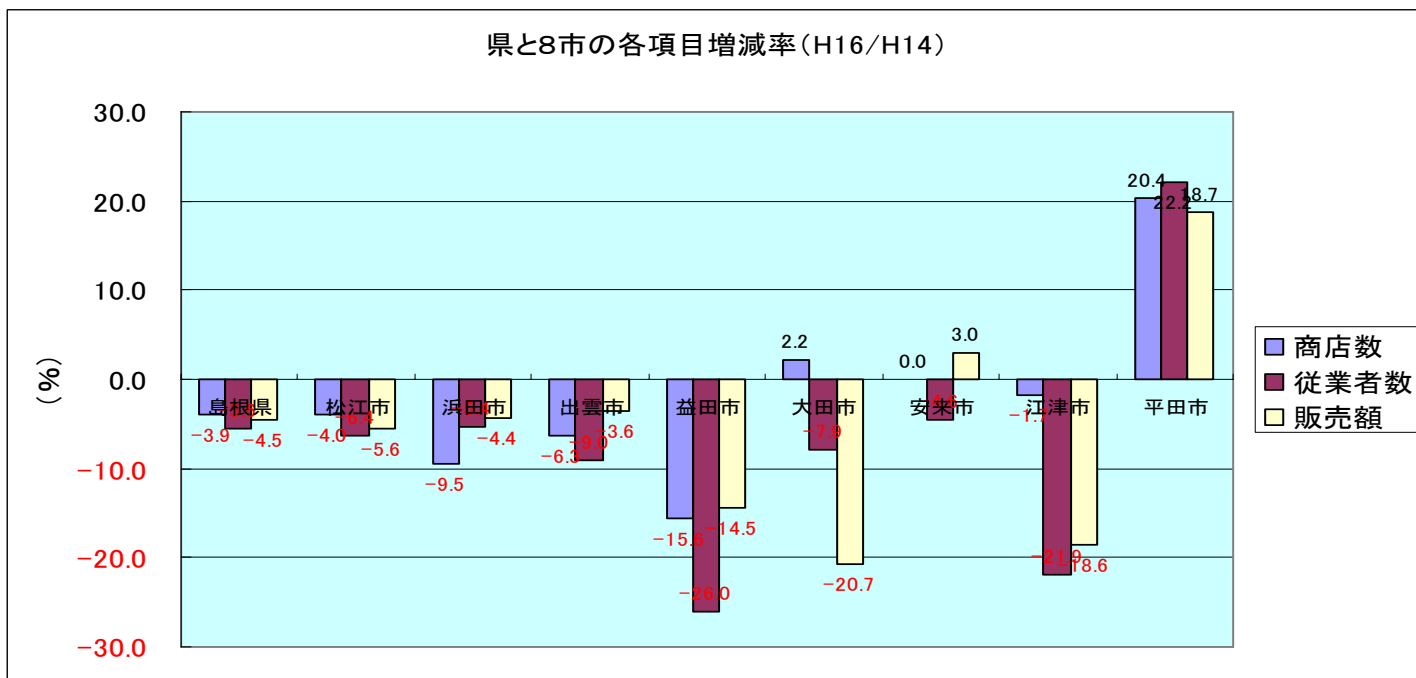
出雲市の中分類業種別では、すべての業種で減少し、「飲食料品」では2.7%、「機械器具」が6.9%、「その他」が7.3%と減少した。（「各種商品」のH6~H16、「繊維・衣服等」のH6、H9、H16、「建築材料・鉱物・金属材料等」のH14は秘匿されている。



### (4) 各項目の対前回増減率

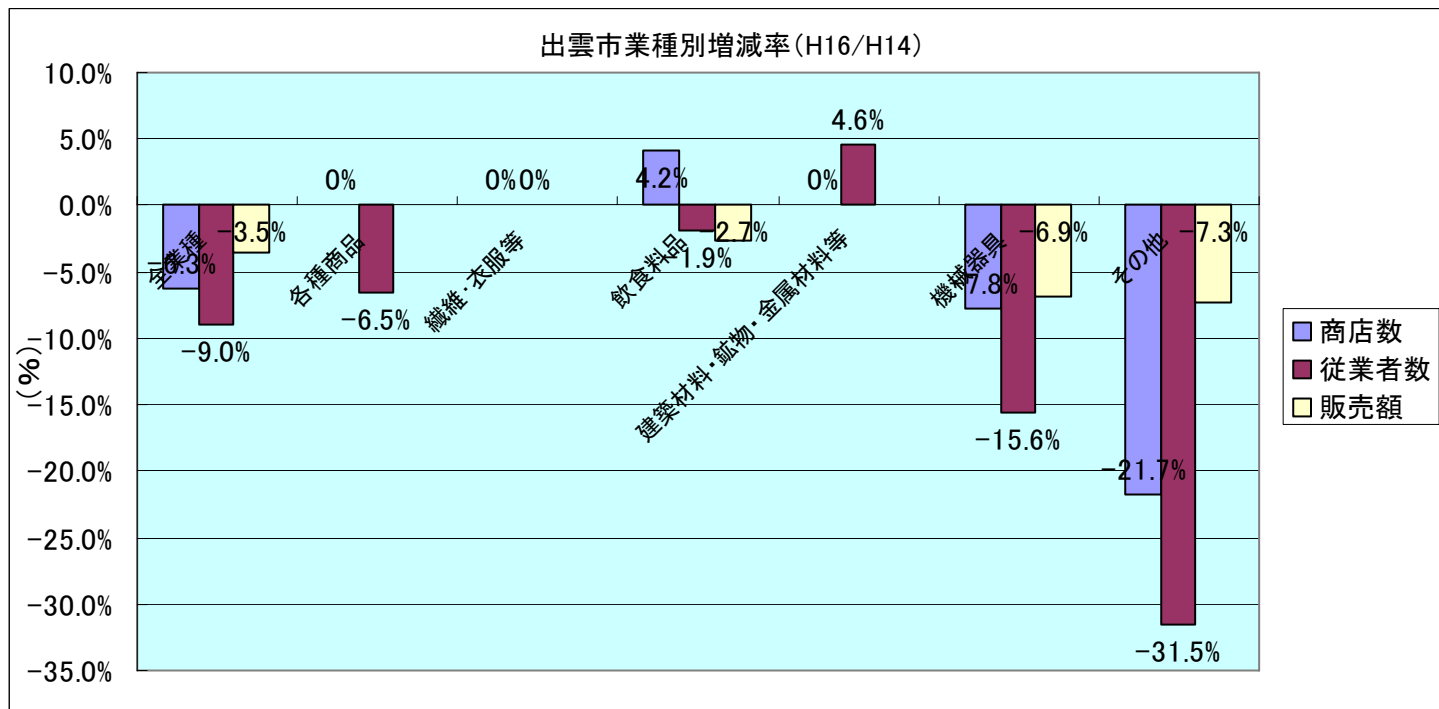
#### ① 島根県と8市の状況

3項目のすべてが増加したのは平田市で、3項目のうち増加項目があるのは、大田市の商店数、安来市の販売額のみとなっている。それ以外の市は全項目が減少している。



## ②出雲市の中分類業種別の状況

出雲市の中分類業種別では、「飲食料品」の商店数と「建築材料、鉱物・金属材料等」の従業者数が増加率を示しているが、実数自体は、それぞれ3店、37人の増加で大きな増加数ではない。「機械器具」、「その他」が3項目全てで減少した。（「各種商品」のH14,H16の販売額及び「繊維・衣服等」のH16、「建築材料、鉱物・金属材料等」のH14販売額は秘匿されているため、これらの増減率は不明。）

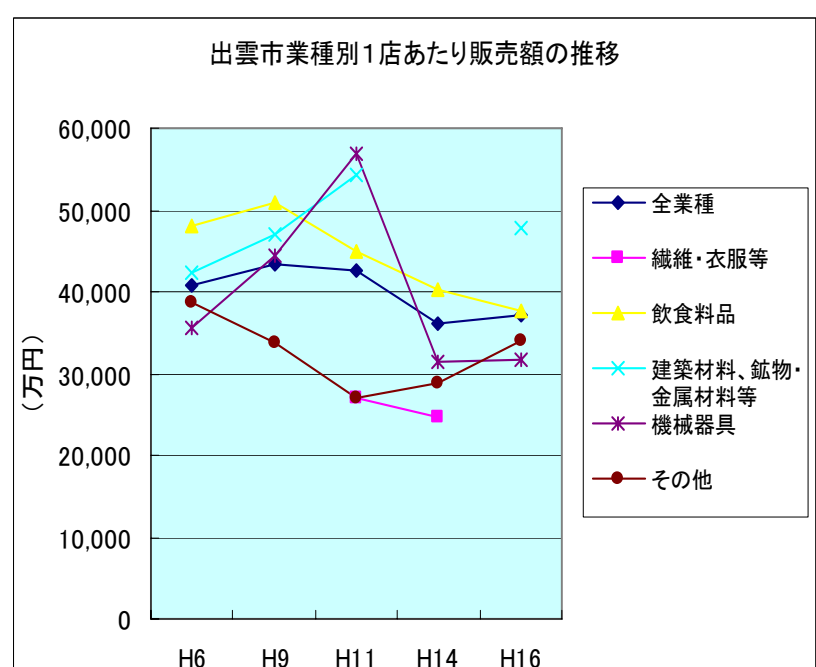
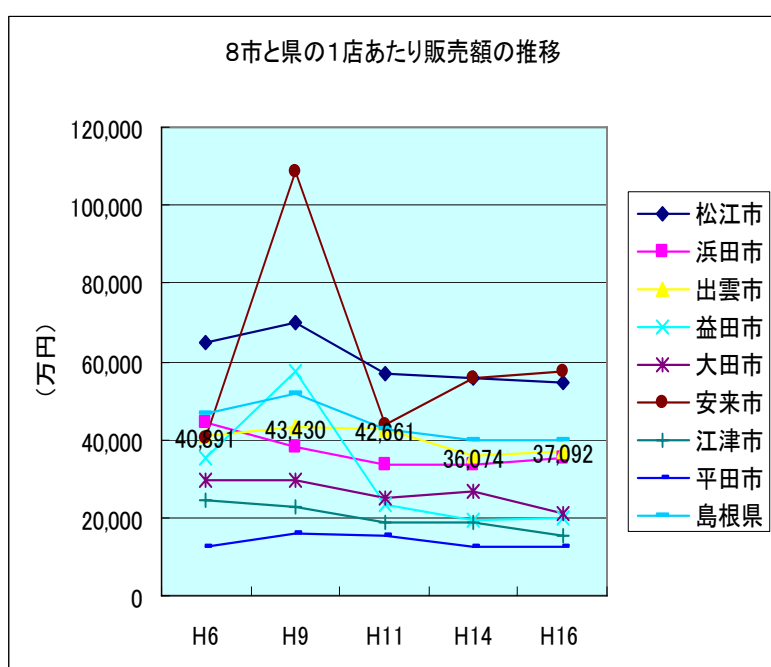


## (5) 販売効率

### ①1店当りの販売額

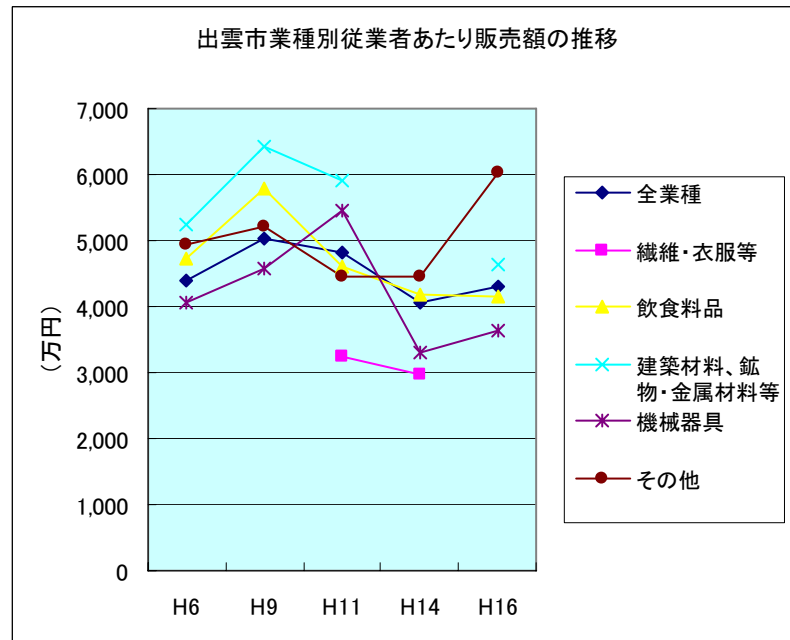
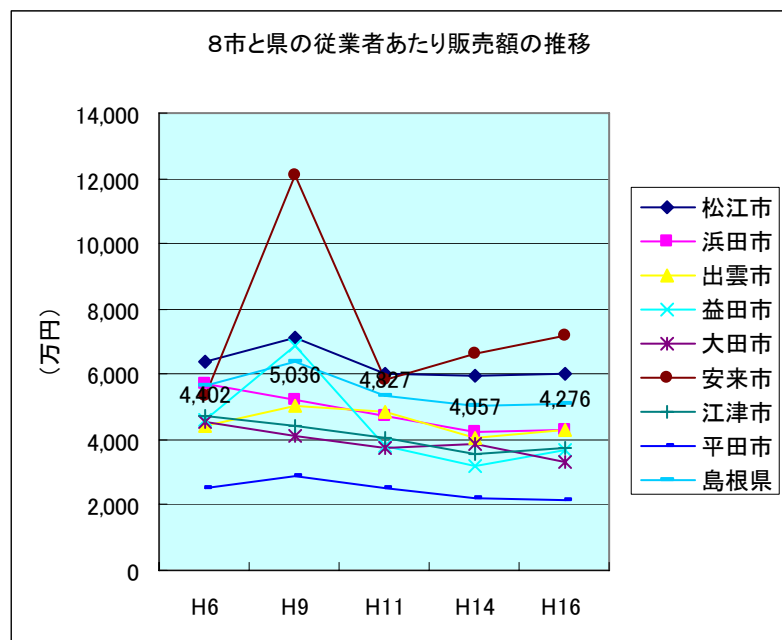
1店当りの販売額の8市の状況を見ると、安来市、松江市、出雲市の順に高く、出雲市は県平均を下回っている。出雲市の1店あたり販売額は、商店数の減少率を下回る販売額の減少のため2調査連続減少していたが、今回は微増した。

出雲市の中分類業種別では、「機械器具」が1.0%、「その他」が18.4%と増加し、「飲食料品」が6.6%減少した。（「各種商品」のH6~16の販売額と「繊維・衣服等」のH6、H9、H16、「建築材料、鉱物・金属材料等」のH14の販売額は秘匿されているため不明。）



## ②従業員当り販売額

8市の動向では、大田市（13.9%）、平田市（2.9%）が減少した以外はその他の市は増加した。出雲市は県平均を約848万円下回っている。出雲市業種別では、「その他」が35.5%、「機械器具」が10.3%と高い伸びを示した。（「各種商品」のH6~14の販売額と「繊維・衣服等」のH6、H9、H16、「建築材料、鉱物・金属材料等」のH14の販売額は秘匿されているため不明。）



## (6) 8市の県内シェア

8市の県内シェアを見ると、販売額は松江市が42.8%と圧倒的な数値を示している。以下出雲市14.3%、浜田市9.1%などとなっている。出雲市は販売額のシェアが商店数及び従業員数のシェアを下回っているため、1店当りの販売額と従業員当りの販売額が県平均を下回っていることがわかる。

